レッスン：PYR 26

テーマ：法則とシンボル

PYR 26/KE05/D1/L04

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンでは創造界の不変の全ての法則は創造のセル、つまり生命の木のなかにある、と述べました。現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルのなかにある様々なサイクルの法則以外にも、5つの小さな法則があります。それらは実存の諸世界だけでなく存在の諸世界のなかにもあります。

　創造界にはLifeの3つの主な下降があります…下降とLifeの現れ。1つは人間のイデアを通じた下降、もう一つは聖霊的イデアを通じた下降です。3つめはイデアではなく、下降または現れとしての天上人のアベニュー、そしてドミニオンとLogii（?)；であり、全てのシステムにはそれを支配するロゴスがあります。

　ロゴスとは自己実現したモナドセルフを意味します。それは「過去に」スピリットモナドセルフから人間のイデアを通じて微細な部分が表現されたことを意味します。そのプロセスはこれまでに多くのレッスンのなかで述べました。

　創造界への全ての下降は「最も広大なヘブン Widest of Heavens」、つまり創造の大きな母を通じて現され、そこにはマインドの様々な波動の使用を通じた現れだけでなく、Lifeの誕生と現れも含まれます。聖霊的現れはマインドの様々は波動を通じて体を築きますが、それは「最も広大なヘブン」を通じて表現されます。

　最も広大なヘブンは築くためにいかなる手も使用しませんが、彼女を通じて手が現わされ、それらの手はアークエンジェルのオーダーの両手です。Lifeの質は彼女を通じてのみ表現されます。

　「最も広大なヘブン」のシンボルは八芒星であり、それは一つの法則を意味するのでなく、絶対存在の特質を意味します。それはアプローチ不可能なリアリティーであり、創造界にあるのではなく、絶対存在の大きな三角形のなかにあり、それゆえに「最も広大なヘブン」は魂のセルフエピグノシスでさえもアプローチ不可能なのです。

　「最も広大なヘブン」はどの下降を通じて現れたのだと思いますか？それはロゴス的下降ですか、Lifeそれ自身のアベニューを通じての下降ですか、または聖霊的イデアを通じてでしょうか？実際、それは全てのアベニュー、全ての下降を通じてです。なぜなら、述べたようにそれは「創造の大きな母」であり、それは諸宇宙を抱いているからです。実存の諸世界においては絶対存在の現れは「処女マリア」として現れたことを知っています。

　身体は聖霊的に創造されますが、しかしそのパーソナリティーが誕生し、「最も広大なヘブン」を通じて表現されたのです；実際に生んだのは現在のパーソナリティーとしての母親ではありません。母親は聖霊によって利用されたのです…その結果、その特定のパーソナリティーの身体がこの波動のなかで表現されるために。「最も広大なヘブン」のシンボルは法則を意味しません。

　六芒星は存在の諸世界のなかにありますがそれは法則でしょうか？六芒星はキリスト意識を意味し；それは自己実現した現在のパーソナリティーのステートを意味し、同時に現在のパーソナリティーによって達成可能なものを意味します；ですから実際に両方です。

Page2

そして、パーソナリティーは進化成長のプロセスのなかで、真の5つの感覚を表現するステートに到達すると言いました。そのポジションには現在のパーソナリティーの大きな下向きの三角形のなかにある小さな三角形（＊下向き）の頂点があります。そして現在のパーソナリティーがそのポジションから自己実現に向けて進むと、そのポイントから上に向かって現在のパーソナリティーはエゴの様々な側面を殺し、現在のパーソナリティーの大きな三角形をマスターしていきます。

　これが達成されると、現在のパーソナリティーは大きな三角形をマスターするだけでなく、同時にその中の小さな三角形もマスターします。そしてこの小さな三角形はそれと底辺を共有する（＊すぐ上の）小さな三角形と同一形です。それは2番目の長方形のなかにあり、その頂点は六芒星と一致します。

　それは現在のパーソナリティーがこの法則の助けにより自己実現に到達すると（なぜならそれは今や法則だから）、Lifeの本質を表現する能力があり、そして天上人の三角形と一致し、現すことになります。なぜなら六芒星は2つの小さな三角形から構成されているからです…下向きと上向きの三角形で中心を共有しています。

　下向きの三角形は天上人を意味し、それはイエスキリストロゴスを意味し、上向きの三角形は自己実現した現在のパーソナリティーを意味します；そしてそれは勿論この法則、2つの三角形の法則の結果であり、それがロゴスのセンターと一致するように現在のパーソナリティーを上へと引き上げたのです。そしてその結果Lifeの本質を現し、同時に元型である人間のイデアフォームと同一の体を使用します。

　ですから、法則としてのこれがあり、同時にこれが起きるとそれはこの法則によって達成されるもの、そしてその達成とはいわゆるキリスト意識です；言い換えれば現在のパーソナリティーはアイコンの代わりにLifeそれ自体と類似したものを現すということです。

　さて、類似、似ているというとき、Lifeにはフォームがあるのでしょうか？Lifeが創造の諸世界で表現されるためにはマインドを使う必要があります；そしてLifeがその本質を完全に表現するためには、そのための手段にはフォームが必要です。そしてそのフォームが元型である人間のイデアフォームです。それは天上人の体です。ですから、Lifeのそれら全ての現れ、Lifeの本質を十分に現わすためにはこのフォームを使用する必要があります。元型である人間のイデア。全てのアークエンジェルでさえも。

　存在の諸世界にはまた7芒星のシンボルがあります。それが法則であるのかどうかはわかりません。またそれが魂のセルフエピグノシスに、そして自己実現したものに一体何を与えるのかはわかりません

　さて、星とは何で、2次元のそれらのシンボルが星と見なされるためにはエンジェル、頂点の数が制限されるのでしょうか？ノーです。2次元のそれら全てのシンボルは3次元のシンボルの基盤として、様々なサイクルにおける法則として使用されます。

　人間のイデアの下降を通じて、Lifeそれ自体から人間のイデアに提供された諸法則があると述べました。まず魂のセルフエピグノシスはアークエンジェルであり、セルフエピグノシスという質を与えられ、その結果自己実現という質が与えられたのです。それはプログラムされたものではなく、それが聖霊的イデアを通じた自由な活動を持たないアークエンジェルとの違いです。

　人間のイデアを通じての最初のシンボル（＊生命の木の左の柱の2番目のシンボル）は三角形のあるシンボルで、それはLifeの主な特質を示しています。三角形のなかには十字があり、それは能力としてのLifeのスパークの下降を意味します。なぜならそれはLifeのスパークが意味の世界、バランスの世界に入る法則を意味します。このシンボルは十字で十字の上側は表現のステートに入るLifeのスパークによって置き換えられています。それはまたマインドの一番低い波動、つまり4つのエレメントからなる物質、実存の波動に入る能力を与えます。

　この法則は存在の諸世界、元型、イデア、諸法則、原因の諸世界のなかにあります。

　この能力がこれらの諸世界のなかで表現される必要があるかと言えば、答えはノーです。そこではそれらの諸法則の結果は必要ありません。しかし、魂のセルフエピグノシスがマインドの低次の波動のなかでそれ自身から微細なスパークを放つ時にはその結果が生じます。

Page3

　そして次のシンボルは（＊左側の上から3番目）は勿論再びそれ自身から微細なスパークをバランスの諸世界、対立する二極性、二元性の諸世界に放射されるLifeのスパークを意味します。

　そして実存の諸世界における現れが生じます。魂からの微細な部分としてのLifeの現れは今や実存の諸世界に入ります；つまりサブスタンス、超物質、物質というマインドの波動のなかに入るということです。

　まず、この現れはサブスタンスと超物質を身につけています。つまり、ノエティカル体とサイキカル体があるということです。しかし、これらの諸体は初めはまったく同一で、天上人の体と同一のLifeそれ自身の体のなかにあります。なぜなら、このステートでは人間の現れは人間の現在のパーソナリティーにはまだなっておらず、Lifeの本質を完全に表現しています。ですから、この現れは後にはノエティカル体、サイキカル体を持つようになりますが、まだあたかもLifeの体のなかで同化のステートにいるようなものです。

　さて、魂のセルフエピグノシス、その他の法則によって与えられた可能性、能力の結果として、スパークが実存の諸世界に入ると現在のパーソナリティーの大きな法則があります。しかし初めはその現れは現在のパーソナリティーではありませんが。

　この現れは現在のパーソナリティーの大きな法則によって与えられたものをどのようにして達成するのでしょうか？そして何が達成されるのでしょうか？その努力とは自己実現を達成することですが、しかしLifeの本質を完全に表現しているステートに留まっている限りそれは不可能です。

　Lifeはその本質を表現することをストップできるでしょうか？不可能です。ですから、このスパークはマインドの低次の波動を身にまとう必要があります。それはつまり、本質を十分に表現するための障壁を作ることを意味します。これらマインドの低次の波動を使用することによって、その低次の波動を使用するためのシャドー、影が創造されます。そして今、その創造されたものがLifeのスパークによって活性化され、ノエティカル体とサイキカル体が生じました。

　これらの諸体がこの創造されたもの、つまり肉体に与えられた瞬間に、それらは人間の元型としてのイデアの形を持つことを止め、それら2つの体は不定形の諸体となります。

　勿論、それが起きるためには、それは現在のパーソナリティーの大きな法則の潜在的可能性の結果であり、その結果として現在のパーソナリティーという現れがあります。しかしスパークに関しては、それまでもそうであったように純粋なままであり、**現在のパーソナリティーの仕事とは、現在のパーソナリティーを活性化したこのスパークと一つになることです。**

　これを達成するためには、現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーの潜在的可能性のサイクルにある法則としてのそれら全ての手段を利用する必要があります。（＊現在のパーソナリティーを）取り込んだ同じ法則が、再び現在のパーソナリティーが自己実現を達成する助けとなります。

**自己実現するとは不定形の諸体が天上人の体の形を持つことです。**

　さて、生命の木上における下降に関して、その本質を完全に現すことのないステートに入るということ、それは同時に両方のアベニュー（＊左右の柱？）で生じます…つまり人間のイデア、そして聖霊的の両方です。下の水平な線は、魂（Soul)からのスパークが実存の諸世界に入り、4つのエレメントの使用によって物質の諸世界に下降するポジションです。

　魂のセルフエピグノシスには、創造界においてアークエンジェルのオーダーが持っている全ての能力がある、と述べました。ですからこれら7つのアークエンジェルのオーダーが実存の諸世界のなかで有している全ての能力を持っているにもかかわらず、一つのアークエンジェルとしてそれらの能力を表現しないステートに入ります。（＊生命の木における）ロゴスの側でスパークではなくパーソナリティーが下降します。今やパーソナリティーはエゴの様々な側面を身にまとい、そしてアークエンジェル的能力を現すことがなくなります、つまりLifeの本質を表現しなくなるということです。

　そして、同化を現す能力の代わりに、同調が表現されないポジションに入るまでは同調を表現します。そしてノエティカル体とサイキカル体を使用して5つの真の感覚を表現している現在のパーソナリティーがいます。そして物質の中をさらに下降することによって、今や真の感覚を表現する代わりに、影としての感覚を使用し、また上向きの五芒星の代わりに下向きの五芒星を有します。今やそれは反対のシンボル、無知のシンボルとなり、現在のパーソナリティーは4つのエレメントのなかにいます。なぜなら肉体は4つのエレメントを使用して作られているからです。

　Page4

現在のパーソナリティーは潜在的可能性の小さなサイクルのなかで見いだされ法則によって提供される能力を使って、現れの制限を克服する必要があります。

全ての星は法則を意味しますが、しかし三次元の諸世界内では、物質の諸世界では、それらの法則にアプローチするためには私たちはピラミッドのベースとして星を使用する必要があります。ですから探求者はそのようにして、三次元的シンボルとしての星を使用することによって　これらの法則にアプローチします。

　法則は能力を与えますが、シンボルは私たちが達成可能なことを示します。しかし、シンボルは能力を与えないので法則ではありません。

　4芒星があると述べました；法則は達成すべき可能性を与えます、そしてそれを達成する能力を提供するのは四面ピラミッドのサイドです。ですから実際、四面ピラミッドは両方を意味し、そしてまた三面、五面ピラミッドも同じです。

　しかしまた他のシンボルもあります。一面ピラミッド、つまり円錐です。それは法則でしょうか？そうです、それは他のピラミッドの結果として、特に三面ピラミッドの法則の結果として達成されます。三面ピラミッドが提供するものをあなたが表現すればするだけ、Lifeのリアリティーをもっと現すことになります。

　実際、潜在的可能性のサイクルによって与えられる能力の鍵は三面ピラミッドですが、しかし同時にそのパーソナリティーは全てのピラミッドを使用してワークすることでしょう。しかし、ほとんどは三面および五面ピラミッドです…勿論あるレベルまでの現れに関しては。

　あるレベルの現れから先は、パーソナリティーはそれをマスターする努力の手段としてそれらを「使用」することを止めるでしょう。そして代わりに超意識的に使うことでしょう；勿論その法則は五芒星をマスターする法則です。

　言い換えれば、パーソナリティーは超意識的に影の感覚の代わりに真の感覚を使うようになります。これは勿論3番目のサイクルをマスターして4番目のサイクルに入ると生じます。そこではパーソナリティーは自分を超意識的に現します。そしてパーソナリティーは最大のミステリー、火の洗礼というミステリーが与えられ、それはロゴス自身によって行われます。

　それから先はパーソナリティーはエゴの様々な側面を殺し、同時に何であれLifeからのものを表現し始め、そして最後に自己実現に到達してそのアークエンジェル的状態を現すようになります。このポジションにおいて現在のパーソナリティーはLifeの本質を完全に現し、再びアークエンジェルとなります。なぜなら、自己実現した現在のパーソナリティーはアークエンジェルだからです。

　ここでLifeの本質を完全に現すと言う時、それは現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルが何であれLifeから提供しているものを意味します。それはLifeの完全な表現ですが、同化の能力のようにこのLifeの現れが表現しない「制限」あるいは「義務」があります。それによって実存の諸世界に留まり、同時に転生のサイクルに留まることができるようにです。言い換えれば、そのパーソナリティーはブレーシス（＊神の意志）においてマインドの低い波動を引き続き使用するということです。それは自己実現した現在のパーソナリティーはその「ポジション」に留まらず、マインドの低い波動へと下り、不可視のヘルパーとして、そしてスピリチュアルなヒーラーとして同胞の人間達を助けるということです。

　さて肉体に関しては、生命の木において私たちはこのシンボルの3つの部分だけを使います：一番上の大きな三角形、それと同一形の一番下の大きな三角形、そして存在の諸世界を意味する上から2番目の長方形です。

Page5

一番上の大きな三角形はアウタルキー（＊自己充足の状態で、バイブレーションや振動、発振もないステート）における絶対存在、神自身であり、一番下の大きな三角形は現在のパーソナリティーを意味します。

　この大きな三角形は肉体で言えば肩の線より少し上にあり、頭がその中にあります。

　そのすぐ下の上の長方形に関しては言いません。

　次に、2番目の長方形の上の線ですが、そこには右肺と左肺があり、中央には心臓があります。そしてその長方形の下の線のところには右に肝臓、左に脾臓があります。下の線はまた現在のパーソナリティーを意味する下向きの大きな三角形の底辺と一致します。その三角形の下向きの頂点はいわゆるクンダリーニまたは生殖器を意味します。

　両手、両足は忘れます。なぜなら両手と両足は現れの波動の中でのみ使われ、サイコノエティカル界においては足で移動するのではなく思考で移動するからです。

　一番上の大きな三角形は金色に輝き、心臓などのある長方形はホワイトピンクの輝き、そして現在のパーソナリティーの三角形はホワイトブルーに輝いています。そして勿論将来は現在のパーソナリティーの身体を形成する3つのステートについても見ていきます。

Q：私の質問は絶対存在にはいわば懐妊に相当する期間があるのかどうかというものです。

K：Lifeが存在し、実在するためには、その中に絶えず動き、振動、波動があることを意味します。さもないと、それはLifeではありません。しかし創造界におけるマインドの最も低い波動のなかにも、不活性に見えるかもしれませんが動きがあります。なぜならそこにはLifeがあるからです…物質のもっとも小さい原子のなかにさえも。

　もし物質の原子を分析すると、その中に動きがあることがわかり、それはLifeがそこにあることを意味します。ですから原子のなかの動きを止めることはできません。なぜならそれが可能であるなら、それはLifeが永遠、永続的なものでないことになるからです。しかし勿論Lifeは永遠のものです。

　ですから「スイッチを切る」と言う時、現在のパーソナリティーにおいて何のスイッチを切ることができるのでしょうか？それは現在のパーソナリティーの認識のスイッチを切ることを意味します。例えば、脳の中で起きている動き、現象的な動きのスイッチを切ることはできます。しかし、思考は続いていますが、肉体を使用していてもそれに気づきません。なぜなら、思考のセンターは脳ではなく、ノエティカル体だからです。

　例えば、数秒間あるいはそれ以上つながりを切ることができますが、それはお勧めできません。なぜなら、それは機敏、敏捷であることのスイッチを切ることになり、それは非常に危険なことです。なぜならそれが生じると、そのパーソナリティーが潜在意識のドアーを開いてしまうからです。

　ですから、Lifeの主な特質は動き、振動、波動であり、Lifeがそれ自身のなかでそれ自身を表現していないステートにいる時には（＊アウタルキーのステート）、（これは皆さんの勉強のために言うのですが）何も活動もなく、振動、波動もない状態のなかでこの活動、振動、波動があるのです。しかし勿論これはそうではありません、なぜならこの活動、振動、波動の結果として、結果が生じているからです。

　その結果とは何でしょうか？それはディバイン（＊神）の黙想及び勿論創造界、そして創造界における現れです。それはLifeのこれら3つの主な特質、つまり動き、振動、波動の結果以外の何ものでもありません。そしてこの動きのなかで活動しているもの、それはLife、絶対存在が現している微粒子です。

　創造としてのマインドの様々な波動という時、そしてどのような現れも様々な波動を通じてですが、これらもまた微粒子であり、それらはディバインの黙想の活動のなかで動いています。

Page6

　これが創造に関することであり、全ては絶対存在のアウタルキーのなかにあり、そのアウタルキーのステートのなかにないものは何もありません。全ては絶対存在のなかにあり、神は全ての原因であり、同時に神は最小の原子のなかにもあるのです。

Q：現在のパーソナリティーのスタートはいつ生じ、またいつ自己実現は始まるのですか？

K：現在のパーソナリティーはそのパーソナリティーがスパークによって活性化した時からスタートします。しかし前に述べたように、そのスパークは現在のパーソナリティーとなった時に物質を身にまといます。それ以前ではありません。これが現在のパーソナリティーの最初の転生です。それ以降多くの転生が続きます。どのぐらい多くでしょうか？数はありません；何千回か、それは決まっていません;　誰も人間は何回生まれ変わる必要があるとは言えません、私たちには自由意志があります、私たちは個人の意志に従って経験を経ていきます。実際私たちはレッスンを受け、そして成長に向けてのこの動きの結果として、Lifeそれ自体からより多くを現すようになるのです。

　さて、仕事とは私たちのアークエンジェル的状態を現し､Lifeの本質を完全に現し､多重性のなかで、神のワンネスとは異なる何かとしてのモナドセルフを表現することです。様々な体験を通じて私たちはいわゆる現在のパーソナリティーとしての個別性を表現し、私たちが獲得する個人的カラーと共に自分の「私であること」は他の人々の「私であること」とは異なることを認識します；そしてそれは最終的に魂(Soul)に与えられ、「自己実現した魂のモナドセルフ」が生じ、魂はまたこの自己実現を最内奥のセルフであるスピリットセルフに与えます。

　そのスピリットは決してアウタルキーを去ったことはなく、そのステートは神を意味します。私たちの「最内奥のセルフ」は今のこの瞬間でもそのステートのなかにいて、終わりなき神の黙想に「参加」しています。しかし、私たちは現在のパーソナリティーとしてそれに気づいていません。

　ですから、現在のパーソナリティーによって神はどこに見いだされるのでしょうか？私たちの内側であり、それは私たちの中にあるLifeのスパークです。神は私たちの内側にいます。神はそれほど近いのですが、私たちはそれを知りません。しかし同時に現在のパーソナリティーとしての私たちを活性化するスパークであるのみならず、神もまた内側にいて、物質の最小の原子、最小のサイコノエティカル体のなかにも神はいるのです。

　レッスンのなかで述べましたが、サイコノエティカル体は創造されたものではなく、現れです。肉体は聖霊的創造物ですが、サイコノエティカル体はLifeの現れであり、実際それは魂のセルフエピグノシスの能力によって提供された現在のパーソナリティーの潜在的能力の結果です。つまり、それはロゴス的現れです。そしてロゴス的現れというとき、それは創造のセルを構築する元型から来ます。なぜなら、それらの諸体は人間のイデアのフォームを取るようになり、自己実現した現在のパーソナリティーによって達成されるものを達成するからです。

Q：生命の木という言葉は理解しますが、創造のセルは創造界における最小のものであることもありえると聞くと混乱します。

K：原子が存在し実在するためには、創造のセルのマトリクス（＊鋳型、母型）が必要であり、それはあらゆるものの構造です。その構造があるからといって私たちが同時に人間のイデア・フォームを持つということではありませんが。しかし、構造としてはそうなのです。科学はそのことを知りません。なぜならテクノロジーの使用を通じてこのリアリティーにアプローチすることは不可能だからです。私たちはそれにアプローチ出来ないことを感謝すべきです。なぜならもしアプローチ可能なら膨大なパワーを手に入れることができ、人類の一般的な気づきのレベルの結果として不適切に利用されてしまうからです。

エクササイズ：レッスン25のエクササイズを再び利用します。

EREVNA PYR26/KE5 D/1?D04